



四小学校だより

向上無限

(こうじょうむげん)

令和7年11月号

発行日 令和7年11月10日

文責 小倉 隆史(校長)

11月 実りの秋

菊花の季節となりました。実りの秋を迎えようとしています。本校でも、子どもたちのさまざまな活動を通して、実りの秋になるよう取り組んで参ります。保護者・地域の皆様には、いつもご理解とご協力をいただきありがとうございます。引き続きどうぞよろしくお願ひします。

四小バザーへのご協力ありがとうございました。

10月25日(土)に四小バザーを開催しました。時折小雨の降る天候でしたが、多くの地域の方々のご来場をいただき、盛大にバザーを開催することができました。

体育館では、バザーやわたあめ、ゲームが行われ、子どもたちの歓声が響き渡っていました。校庭では、新鮮な野菜の販売、ホットドッグ、ジュース類の販売やキッチンカーのご協力をいただき、チュロス・チーズボール・トルネードポテト・チキンカレーの販売を行いました。

運営側の「PTA役員の皆様」「民生委員の皆様」「学校運営協議会の皆様」「ボランティアの皆様」この日までの準備もご苦労をおかけしました。当日も本当にたくさんのお客様がいらっしゃって目が回るほどの忙しさでした。大変お世話になり、ありがとうございました。今後ともよろしくお願ひします。



総売り上げ：561, 096 円 純利益：128, 385 円

人権教育公開研究会

令和6年・7年度、栃木市教育委員会研究指定を受けた「人権教育」の公開研究会を11月7日（金）に行いました。栃木南中ブロック（四小・南小・南中）共通テーマ「認め合おう 自分と仲間の 輝く未来のために」～差別を自分事として捉え、その解消を目指す児童生徒の育成～に基づき、2年間研究を進めてきました。

四小では、6年生社会科「江戸時代の身分制と人々の暮らし」の授業を栃木市教育委員会青木教育長様、大塚教育委員様、栃木市教育研究所松本所長様をはじめ、多くの皆様のご参加をいただき開催することができました。

「人権の世紀」と呼ばれる21世紀になり四半世紀が経過しました。しかしながら、部落差別（同和問題）をはじめて、今なお不当な差別が存在している現状の解決に向けて、人権教育を積極的に推進する必要があると考えております。今後も人権尊重の精神の涵養を目的に、一人一人の人権を大切にした教育をすべての活動を通して行っていきたいと考えております。



1・2年生 校外学習「宇都宮動物園」

10月17日（金）に、1・2年生合同の校外学習を実施しました。校外学習に絶好の天候で、動物園で動物に触れあったり、遊園地で乗り物に歓声を上げたりしながら活動することができました。

1・2年生の合同のグループでの活動を通して、2年生は1年生に気遣いながら行動する姿が見られ、1年生は、2年生のお兄さんお姉さんに頼りながら協力し合って楽しく行動することができました。

